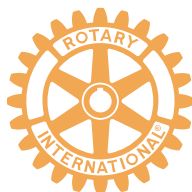


2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ ANAインターコンチネンタル別府リゾート&スパ
〒874-0000 別府市大字鉄輪499番地18
TEL (0977) 66-1000 FAX 66-1002
事務所 別府市石垣東10丁目1-25 大分ヤクルトビル3階
〒874-0919 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
<http://www.beppu4rc.jp/chuo/>
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 梅津 圭二 理事 佐藤 愛子 役員 会長 衛藤 秀子 会計 河村 貴雄 ガザバー(副会長) 佐々木久宜
〃 亀井 孝 〃 平野 英壽 副会長 後藤 雄二 SAA 平野 教康 中畑千恵子
幹事 梶原 和朗

VOL. 38 - 15
2025年1月20日

第1575回例会

会報担当 佐藤 愛子

◆点 鐘 12:30

◆R S 我らの生業

会長の時間

会長 衛藤 秀子

皆さま、こんにちは。会長の時間です。

本日は暦の上では「大寒」で外は冷たい風が吹いていますね。特にここインターコンチネンタルホテルは山の上で特別ですね。こんな寒い日に、お忙しい中をご出席いただき、ありがとうございます。美味しいお食事で身体に活力を備えてください。

本日は、平野英壽会員の卓話ですね。とても楽しませておりました。どうぞよろしく願いいたします。

以上で会長の時間を終わります。

◆出席報告

担当 中畑千恵子

本日 の 出 席	会 員 総 数	18 名
	出 席 者	12 名
	事前メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
欠 席 数	出 席 率	70.59 %
	出 席 率	70.59 %
前々 回 の 訂 正	出 席 率	75.00 %
	事後メイクアップ	0 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	2 名
	修 正 出 席 率	81.13 %

連 続 一 回
通 算 751 回 100 %

・メイクアップ

事前 梶原、梅津 (別府北60周年)
事後
欠席 森、中尾、竹下
理事会承認
出席免除 溝部





幹事報告

幹事 梶原 和朗

一職業奉仕月間一

- 1. 本日の卓話
「会員卓話」 平野 英壽 会員
- 2. 公益財団法人ロータリー日本財団より衛藤秀子会長へ「ポールハリスフェロー」の認証状とピンが届いておりますので、本日ご披露しお渡し致します。



- 3. RI第2720地区 延岡研一ガバナーエレクトより、中畑千恵子会員へ2026-2027年度地区社会奉仕委員の委嘱状が届きましたので、本日ご披露してお渡しいたします。



- 4. 第7回定例理事・役員会報告
(令和7年12月16日(火) 13:40~
於:インターコンチネンタルホテル 6名)

報告事項

- 1) 第3回大分第3グループ会長・幹事会報告
(令和7年12月22日(月) 14:00~
於:別府市内4RC合同事務局)
＜報告事項＞
 - ・2025-2026年度IM決算報告
 - ・「ロータリーこども屋台選手権」申込みについて
 開催日:2026年5月23日(土)地区大会時
 参加者説明会:2026年2月
 (日時調整中/確定次第ご案内)
【大分第3グループより下記チームの申込みを行う】
 申込チーム:一般社団法人・にじのひろば
 (代表理事 村田広子氏)

内容:しいたけカレー

- 2) 第5回別府市内4RC会長・幹事会報告
(令和8年1月5日(月)持ち回り)

＜報告事項＞

- ・堀川 貴史 パストガバナーの訃報への対応の件。
告別式 2026年1月4日(日) 13:00~
場 所 合掌殿島田斎場
喪 主 令夫人 堀川光江様
PG逝去の前例に基づき、供花、弔電につ
きまして下記とお対応いたしました。

前例/パストガバナー
香典 40,000円
別府市内4RC各1万円
供花1本 20,000円(税別)
4クラブにて折半5500円
*弔電は各クラブにて手配

＜審議事項＞

- ・香典は喪主宛に現金書留にて郵送させていただきます。

審議事項

- 1) 2025-2026年度 後期納入金及び立替金請求の件。※承認
- 2) 2026学年度ロータリー米山記念奨学生世話クラブ及びカウンセラーの件。※応募する

確認事項

- 1月・2月例会予定の確認
- 1月/職業奉仕月間
- 1月6日「各会員より新年の抱負」12:30~
於:インターコンチネンタルホテル
- 13日 例会はありません。
- 20日 「会員卓話」平野 英壽 会員
12:30~ 於:インターコンチネンタルホテル
- 27日 例会はありません。
- 2月/平和構築と紛争予防月間
- 2月3日「会員卓話」亀井 孝会員12:30~
於:インターコンチネンタルホテル
- 10日 例会はありません。
- 17日 「ゲスト卓話」
佐賀嬉野 白川製茶園 代表取締役 白川 稔氏
12:30~ 於:インターコンチネンタルホテル
- 24日 例会はありません。

- 5. 八代南RC「創立50周年記念式典」ご案内
日 時:令和8年3月28日(土)
式典16:30~、祝宴18:00~



場 所：八代グランドホテル
(八代市旭中央通10-1)

登録料：会員12,000円、ご夫人10,000円

締切日：登録～1月31日、変更～2月15日

6. 1月9日(金) 18:30～ホテル山水館に於いて「新年会」を開催致しました。

出席者：衛藤秀子会長、後藤雄二、平野英壽、平野教康、井上勝史、森 京子、中畑千恵子、佐々木久宜、竹下一枝、梅津圭二 各会員

7. 例会変更のお知らせ

大分城西RC 1月28日(水)の例会は、例会変更の為、同日12:00～12:40オアシスタワーホテルにてサイン受付

大分東RC 1月29日(木)の例会は、例会変更の為、同日12:00～12:40トキハ会館4Fにてサイン受付

大分南RC 1月30日(金)の例会は、例会変更の為、同日12:00～12:40トキハ会館4Fにてサイン受付

8. お祝い

会員誕生日

平野 英壽会員

(1月25日)

※記念品を

お渡し致します。

皆 勤

佐藤 愛子会員(1月17日=3年)



9. 次回例会の予定(2月3日) 12:30～13:30

於：インターコンチネンタルホテル

「会員卓話」 亀井 孝会員

10. 本日の回覧

①ハイライト米山

②「2月第1例会(2/3)」出・欠席

11. 本日の配布

①週報No.1572, 1573, 1574号

②2025-2026年度後期納入金請求書

スマイルボックス

後藤 雄二

○衛藤会長

つい先日、お正月を迎えたと思ったら、もう一ヶ月過ぎようとしていますね。

今日は大寒の入り、予報通り少し寒くなりましたね。これから二週間は寒いでしょう。寒さに負けずがんばりましょう。

○平野(教)会員

今月も(売上目標)保険料、一億円達成しますように!

○後藤会員

英壽さん、卓話楽しみにしています。

大寒でも元気に仕事出来る事に感謝!

○平野(英)会員

これからも宜しく!!

○佐々木会員

今年は娘2人が、大学・高校受験です。先週共通テストが終り、一段落しました。

今日は高校受験の送迎をしました。みんな無事の合格できることを祈念してスマイル。

○河村会員

平野英ちゃんとは、37年間(ロータリー創立以来)の付き合いですが、卓話を楽しみに来ました。

○亀井会員

久しぶりの例会出席です。

今日は平野英壽会員の卓話を聞きに来ました。宜しくお祈いします。

○木村会員

久しぶりです。今日は、平野会員の卓話を楽しみに来ました。

○中畑会員

本日の卓話、平野英壽さん、楽しみにしています。よろしくお祈いします。

めっきり寒くなりましたね。みなさん、お身体には気をつけてくださいね。スマイル◎

○佐藤会員

平野英壽会員、卓話楽しみにしています。よろしくお祈い致します。

○井上会員

週末にかけて寒くなるようです。ご自愛下さい。

平野英壽さん、卓話楽しみにしています。

○渡邊会員

本日は、平野会員の会員卓話を楽しみに伺いました。宜しくお祈いします。



笑顔の先にある奉仕の心
【75歳、今も職業奉仕の現場で】

はじめに～8年前の原稿を手にして～

皆さん、こんにちは。今日はお忙しい中お集まりいただきまして、心より感謝申し上げます。

そして、こんな私に再びマイクを持たせてくださったこと、本当にありがたく思っております。

実は平成30年一ちょうど8年前にもこの場でお話をさせていただきました。

あの時、今は亡き森園研修委員から、職業奉仕セミナーのお願いと、地区員倉田職業奉仕部長のご指名で、この場でお話させていただいたことがありました……。

来期からの平野弟が地区の職業地区委員で活躍されるそうで、そのときの原稿を机の引き出しから見つけて、しみじみと読み返したとき、不思議な感覚に包まれました。懐かしいやら、恥ずかしいやら（笑）

『若かったなあ』といっても67歳でしたが（笑）、あの頃の私は、まだ会社で声を張っていた時期です。

でも、驚いたのは、7年前の自分が語った「職業奉仕」の思いが、今もまったく色あせていないということでした。むしろ年を重ねた今だからこそ、その言葉一つ一つの重みを、より深く実感しています。

今日は、あのスピーチの“続編”として、私の歩んできた道と、これからの道についてお話させていただきます。

私の原点、そして今

私は23歳で小さな工務店を立ち上げました。技術も人脈も経験もない。あるのは情熱だけ。でも、その情熱だけは誰にも負けなかったと思います。

しかし最初の頃は、もう本当に……毎日が地獄絵図でした（笑）。お客様からは値切られ、支払いの順番に頭を抱える日々。

ある日、「お前のところは、安かろう、悪かろうやろ？」と面と向かって言われ、涙をこらえな

がらトイレ掃除をした夜もありました。

でも、その経験があったからこそ、私は“誰よりも丁寧に” “誰よりも笑顔で” “誰よりも誠実に” という信念を持てたのだと思っています。

ロータリーとの出会いと、四つのテスト

私がロータリーに入会したのは37歳のときです。

当時、仕事ばかりで心の余裕を失いかけていた私を、ある先輩ロータリアンが例会に誘ってくれました。その方はわがクラブ、別府中央のチャーターメンバーで、今は亡き、小田部正三さんという方です。

紹介されたその時、小田部さんは開口一番、私にこういいました。

「若さでなんとか、かんとか押し通して、商売ができる間はいいけれど、今の内に色々な経営者の資質を学習し、色々な経営者に会える会に入りなさい」と。

1つだけ覚えているのは、「ロータリークラブは一業種1社の会ですよ。あなたは別府中央RC初の建設業者ですね」という言葉です。

「あー、建設業者は私一人なのだ」と思いつつ入会した記憶があります。

ロータリーの事は、聞いたことはありましたが、私などには無縁の会と聞いていましたので、ちょっと耳を疑いました。

「平野さん、商売はできるかもしれんけど、ロータリーに入って勉強してみんかえ？」

その言葉に、当時の私はなぜか素直に「はい」と言ってしまいました（笑）。

入会の時、バッジと一緒に手渡された“ロータリー四つのテスト”。

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

この4つの問いは、私に“商売の軸”を与えてくれました。売上や利益ではなく、“信頼”と“人間関係”を大切にする経営。それは、まさにロータリーが教えてくれた生き方でした。

正直言って、最初は「なんじゃこりゃ」と思いましたよ（笑）。でも、この言葉が、私の背筋を36年近く正してくれたのです。



職業奉仕は、日々の笑顔の中に

ロータリーでは「職業奉仕はロータリアンの根幹」と言われます。でも、それって難しく考えることじゃないと私は思っています。

目の前の人を喜ばせる。

一緒に働く仲間のやる気を引き出す。

お客様からの「ありがとう」の一言に、こちらが泣きそうになる。

そんな毎日の中に、職業奉仕は息づいていると私は思います。

職業奉仕の本質

ロータリーでは「職業奉仕」が中核だと言われます。でも、それは特別な奉仕活動をするものではありません。私にとっての職業奉仕とは、毎日の仕事を「笑顔で」「誠実に」「人を思いやる心で」行うことです。

ある日、昔アルバイトに来ていた青年から、20年ぶりに声をかけられました。

「社長！ 覚えてますか？ 俺、あの時の現場で“おはようございます”って挨拶の大事さを教えてもらったんですよ」「免許取得のお金を稼がせてもらい、学費が払えました。仕事の大切さを知りました」

その言葉に、私は胸が熱くなりました。うれしかったですねえ。その一言で、腰の痛みも吹っ飛びました（笑）。

“教えたつもり”はなかったけれど、自分の背中が誰かの人生に影響を与えていた。

そして今、なぜか若者たちが平野工務店で働かせてもらいたいと数名入社してきます。

新社長の職業奉仕がはじまりました（笑）。彼たちの成長をみるのが楽しみです。長生きしなければならなくなりました（笑）。

職業奉仕とは、そういう“見えない贈り物”なのかもしれません。

私たちロータリアンは、みなさんそれぞれの職業に就かれています。

私たち各クラブは、大小様々なクラブがあります。財政豊かなクラブや会員数の少ない裕福ではないクラブ等色々なクラブがある中、団体で奉仕するとたった一つの事しかできませんが、例えば30人の会員がいるクラブで各々が動けば30通りの奉仕が出来ます。

各ロータリアンがそれぞれの職業奉仕を行えば、ロータリアンの人数分だけ目にはみえない奉

仕や目に見える奉仕まで、多種多様の奉仕活動が生まれているのではないのでしょうか？

それぞれの職業を通じて、口には出さずとも秘めた喜びを感じる、そんな実践奉仕をこれからも実行していけたらと思います。

我がクラブの大御所であります、故 鳴海先生の

「最も良く奉仕をする者、最も多く報いられる」

「これ以上良いものはない」

ヒー プロフィッツ モスト フー サービス ベスト
He profits most who serves best

ナッシング バット ザ ベスト
Nothing but the best

ロータリーの奉仕は思いやりの心をもって他人のために尽くす事。自分の職業を通じて常に地域のために、何か良いこと、新しい事が出来ないかを考え、最善の努力をすることが大切だとか、涙涙に訴えられました。

又、溝部先生におかれましては、四つのテストの原点になる紀元前の話から、1932年ハーバードテイラーの提唱によって、ロータリーで導入されるようになったいきさつ等、色々勉強させていただきました。しかしながら、年のせいか文言としては頭に残っておりませんが、私の行いや行動は職業奉仕そのものであります。（笑っていただけたらと思います）

三方よしの心、今こそ胸に

私は仕事の中で、「売り手よし・買い手よし・世間よし」の“三方よし”の考え方をずっと大切にしてきました。

建設業って、ただ、モノを作るだけじゃないんです。

建設業はただ建物をつくるだけではありません。“人の想い”をかたちにして、“感謝の記憶”を未来に残す仕事だと思っています。

『お父さんが平野工務店さんと建てた家、今度は私がリフォームをお願いしたいんです』

そう言っていただけることが、何よりの誇りです。

ロータリーがあって、仕事がある

「仕事があるからロータリーに入れる」のではなく、「ロータリーに入ったから、仕事の意味を知れた」と今は言えます。

私は現在、建設業、飲食、不動産など、3つの会社を経営しています。どの現場にも若い人が働



いています。高校生やフリーター、子育て中のお母さんたちもいます。

私は、そんな人たちにいつもこう伝えています。「笑顔で挨拶を実践してみよう」と。

笑顔には人を動かす力がある……これは職業奉仕を続けてきた私の実感です。

結びの言葉～感謝の循環を未来へ～

ロータリーに入って、私はたくさんの人に出会い、たくさんの学びと気づき、そして「職業奉仕の喜び」をいただきました。

そして、私が創業した平野工務店は50周年を迎えました。

50年という節目は、決して平坦な道のりではありませんでした。仕事に追われ、責任に押し潰されそうになった日もあります。そして何よりも、会社の未来をどう託すか、という大きな壁に直面しました。

社員のこと、お客様のこと、家族のこと……。

「この会社を誰に、どう渡すべきか」「自分が去ったあとも、平野工務店が“信頼と奉仕”を貫けるだろうか」

悩み、葛藤し、何度も自問自答しました。

“会社を譲る”とは、単に経営権を手放すことではありません。思いを、理念を、信頼を、誠実な姿勢を、どう伝え、社員への責任を、次世代にどう渡し、どう受け継ぐか……。

それは人生最大の問いでした。バトンを受けとった者が、この先多くの試練があろうと立ち上がると信じることにしました。

その末に私が出した結論が社員による代表取締役ホールディングス化という形でした。

それは「去るための決断」ではなく、むしろ「残すため、社員と新たな自分への挑戦のステージと覚悟」だったのだと、今は思えます。

そして、私はこう考えるようになりました。

「職業奉仕とは、未来に喜びの場を残すこと。」

そしてその精神こそ、ロータリーから教わったものです。私は人生去り際まで、職業奉仕の背中を見せたいと思います。

そしてこの決断には、私がロータリーで学んだ「職業奉仕」の精神が、深く根付いていたと確信しています。

「自分のため」ではなく、「次の世代のために、喜びのバトンを渡し、次の世代と共に喜ぶ」、それが、私の役割だったのだと。

私は平野工務店の宣伝担当にも任命されています。TikTok18万再生突破の平野です。新しい形で社員と共に喜びを感じています。(笑)

今あらためて皆さんにお伝えしたいのは、「職業奉仕は終わるものではなく、受け継がれていくもの」だということです。

そして、その根底には私が大切にしてきたこの遊び言葉があります。

他人と知り合い、

他人に智らされ、育てられ、

他人を喜ばす

私たちは日々、いろいろな人に出会い、目にはみえないかもしれない職業奉仕を受け、そして気づけば、誰かにとっての「喜びの源」になっているのです。だから私は、これからも自分の中の気をみだしながら、その「気」を外へ、職業奉仕というかたちで放ち続けていきたいと思えます。

そして今日ここにお集まりいただいた皆様と、これからも“笑顔の奉仕”を分かち合えたら、これ以上の幸せはありません。

最後に別府中央RCを築き上げた諸先輩方、また亡きロータリアンたちに心より敬意と哀悼の意を捧げ

「ロータリーとのご縁に、心より感謝申し上げます。」

ご清聴まことにありがとうございました。